

森林振興及び森林整備担い手対応森林クラインガルテン(森林市民農園)導入



メンバー: 加藤弘一 (3期)
加藤秀美 (5期)

テーマ選定の背景



- 1) 森林の荒廃の問題と林業の担い手不足は、依然として叫ばれている。<課題>
- 2) 木材市場はウッドショックと言われるくらい木材の価値が見直されている。<追風要因①>
- 3) 近年、間伐跡地をキャンプ用地や森林内での音楽会開催などの多様な活用の事例が多くなった。<追風要因②>



森林振興及び森林整備担い手対応策として、**森林クラインガルテン**(森林市民農園)方式の導入を着想

目指すべき姿

額田の間伐跡地に森林クラインガルテンを導入

森林振興・森林整備の担い手



地消地産事業の創出

事業参加者募集

活動の内容 (令和4年度)

- 【1】森林クラインガルテン利用希望者の募集
(地消地産事業創出を目指す活動の担い手募集)



地消地産事業(案)

- ①オール自然エネルギーアウトドアアクティビティ
- ②スギヒノキ精油実験(メドと課題)
- ③シイタケ栽培……3000個菌打ちと炊づくり
- ④チェーンソーミルで製材
- ⑤間伐材の出荷 1)木の駅PJ 2)木材市場

- 【2】地消地産事業の可能性評価 3事例

- ①オール自然エネルギーアウトドアアクティビティ
⇒再生可能エネルギー



- ②スギ・ヒノキ精油実験
⇒芳香水とオイルの活用



- ③シイタケ栽培 ⇒イベントで使用



活動の成果・反省

<成果>

地消地産事業創出を目指して行い、**下記4つで事業化の可能性**があることがわかった。

- ①All自然エネルギーアウトドア ②スギヒノキ精油
③シイタケ栽培 ④間伐材の出荷 1)木の駅PJ 2)木材市場

<反省・課題>

クラインガルテンの利用者募集し、2名応募があったが、期待した人材は確保できなかった。

(活動による収入面にのみに関心があり、活動の趣旨は理解していただけなかった)

⇒**当会メンバーで、事業検証を進める方向に軌道修正**

今後の展開

4事業での地消地産事業化の詳細検証

- ①オール自然エネルギーアウトドア……CHP導入検討
- ②スギヒノキ精油……精油の特性検証実験
- ③シイタケ栽培……3000個でシイタケ狩り
- ④間伐材の出荷……市場動向

<課題>

地消地産事業創出と森林振興担い手の募集方法の評価・再検討